

'17のべおか

第九

のべおか第九だより (第566号)

2017年12月9日 (土)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

ホームページ <https://dai-9.info>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
○ A (237~330小節) p.9~18	◆ ソプラノ	46 人	36 人	78.3%	67.9 点
○ B (411~654小節) p.21~35	♥ アルト	37 人	27 人	73.0%	67.8 点
○ C (655~762小節) p.35~47	♣ テノール	11 人	8 人	72.7%	63.8 点
○ D (795~920小節) p.50~63	♠ バス	22 人	18 人	81.8%	67.9 点
12月16日まであと7日	● 合計	116 人	89 人	76.7%	67.2 点

♪後半を最初に練習して…前半は評価の高い部分もあり!?



@ 「第九」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♨バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

★ 240 【お話し】 いよいよ本番…今日練習した後は本番当日まで練習はないのでしょうか? …あと1回あるんですね。…はい。でもとことん、総まとめみたいな形でやっていきたいと思います。今日は後半からいきたいと思います。

- 257 【Dei-ne Zau-ber~】 ある意味これはねえ、聴かせる相手、誤解を恐れずに言うと、お客さんと同平面に立ってちょっとくつろいだ雰囲気でも語りかけてみてください。でもテンポは緩まないで。……あぁ、もう少し高い位置で、もうちょっと繋げて。“あなたの神の力でふたたび結び付けられた…”。“Dei-ne Zau-ber bin-den wie-der,”これがひと流れ。“かつて引き裂かれた”、“was die Mo-de streng ge-teilt;”。それぐらいの単位で繋げてください。表情もあんまり固くなく。……いいですねえ。そういう語りかけにしてみようかな…。私も3年前、6年前、どう造ったか覚えてないですよ。ただひとつ印象に残ってるのが僕が最初に来たときバリトンソロの今村さんが本当に語りかけるようにね。大上段に構えて“O Freun---de, nicht die-se Tö-ne!”じゃなかったんですよ。まさに“友よこのメロディーでなくてさ…もうちょっといいのあるから…そっち…”という感じで歌ってらして、あぁいう歌い方もいいな…。ちょっとそれがヒントになったんですよ。是非、大上段に構えて“これが「第九」じゃあ~!!”ではなくて(笑)。観客は歌わないけど“一緒にどうです?”という感じでやってみたいと思いますね。……とってもいい表情ですけど、テンポもいいんですけど…準備が遅い!! 4小節ぐらい前から舞台上の顔になっておいてください。そして楽譜は最小限。ま、はっきり言ってここを見ている場合じゃないよね。……いいですねえ。こんな感じでどうでしょう…少し和やかな感じ。しかし…次(285~)もう違います。



- 285 【wer auch nur~】 こっからですよ。ちょっとキツイこと言ってますよね。“人間なんて所詮孤独よ。一人で生きるからほっといてくれ!”というひねくれ者は“我々の仲間から出ていってください”。しかも“泣きながら”出ていくわけですから。ここは少し芝居がかります。やや大上段からね…。そうやってイメージ変えてみましょう。ちょっとオペラチック。
- 288 【Er-den rund! Und~】 ちょっと喋ってみてください。“Und _ wer's nie ”言葉きついですよ“… never”。しかもsfが付いている。最初の和やかな“Dei-ne Zau-ber…”に比べて“Und _ wer's nie ”手を斜め下に…本番はダメだけど(笑)。なにかしら肉体と結びついてないと生きた言葉にならない。これは冗談でやってるわけではなくて大切なんですよ。本番は動かないわけですよ。でもそればかり考えると言葉が死んでくるんだ…。
- 291 【wei-nend sich aus】 “wei-nend”。動作を入れてみてください。“… aus die-sem Bund.”、“自分たちの輪”です。でもdim.ですからね、あんまり石持って追うじゃなくてちょっとやさしく“wei-nend sich …”。でもかなり言ってること厳しいです。でも実際はdim.です。
- 292 【die-sem Bund.】 “… Bund.”と言ったあと追い出された人が行くところを見届けてあげてください。さいならあ~(293~296)(笑)。ちょっとここは博愛主義を歌いながらギョツとするところです。

- 313 【Küs-se gab sie〜】 ベートーベンの攻撃性が100%出ているところですね。“Küs-se gab sie …” どちらかといえばスポーツ、がんがん叩きつけてください。こうやって第一ステージ(257〜)、第二ステージ(285〜)、第三ステージ(313〜)…これが変奏、バリエーション。“Kü … ga … Re … ” そういうところを丹念に出して行ってください。
……すごく出だし良かったんだけど、だんだん息切れしちゃうな!? 最後までなんとか頑張って力ふりしぼってください。



- 321 【und der〜】 ここの前まで良かった。ここから2分音符の連続…オーケストラがまん前にありますけど、それを越えていかないと。ちょっと下を見過ぎ!! オケを越えて客席に。最後の“Gott,”ここにとっておきの道具を出してほしい。さてもう一回…どこ見てます?? 私を無視してください…あっち(客席)ね。……もっと道具出したらいいと思います。ドラエモンのポケット準備して…。実際もう一歩突き抜けるといったとき、声楽家は背中から声が飛び出すわけです。口からちょっとではない。それなんかが欲しい!! それから“und der Che-rub steht vor Gott,”ちょっと短い方がいらっしゃるな!? ちょい隙間あける程度です。



- 411 【Lau-fet,〜】 柳田さんも素晴らしい声なってますよね。合唱の4つ前から…。…せっかく歌っていただいていますから楽譜見てもしょうがないですよ。ソロの歌を聴きましょうよ。そしたら“よっしゃそれに付いていくぞ…”。同じことを繰り返すわけですから。そういう顔を見せて欲しい。今のは読書の顔でした。この場で読書は全然必要ない。
……はい、いいです。その準備があればバッチし!!
- 543 【Freu-de,〜】 sfはとてもよく出てます。言葉も出てます。
……歌い出したらいんだけど、歌い出す前、とうていこんな音楽をやるような顔に見えてない(笑)!? 逆に言うと凄い器用なんだ!? でもそれだとちょっと息が浅くなっちゃいます。そうですねえ2拍息を吸いましょうか。もうちょっと準備早く。

- 559 【Dei-ne〜】 今、止めたところでだんだん拍子感が慣れっこになってなくなってきてるんですよ。ここはね、6拍子です。常に6拍子を感じて…緩まらない。4/4じゃない。



- 566 【teilt; al-〜】 “al--le Men-schen”を言うとき、必ず目を開いてください!!! これが大切。オケもここは身構えます。みなさんもそれに負けちゃだめ。なんせ“全人類…”って言うわけですから。どうですか? 日常会話で「全人類…」って言う!? (笑)あんまり言わないと思いますよ。今週、何回いいました? 全人類って(笑)。たぶん僕も言ってない。…けど言うわけですよ。それだけの重み…いいですか?? それと“兄弟”なんです。“Brü-der,”これにsfがあります。これも肉体的言語。固まったまま“Brü-der,”ではなく何か感じて言ってほしいです。



- 595 【Seid um-】 “u”が浅いですね。“um-schlun-gen,”。(“o”に近い)
- 600 【Kuß der】 “Kuß”を短く。“Kuß”は短母音です。“クース”ってやらない。実際は4分音符。それでたっぷり息をとって“der gan- …”繋げてください。“…gan”でまた秘密兵器出してください。息が足りない人はこの後にカンニングプレスしていいですから。
- 601 【gan-zen】 “gan--zen Welt!”でffに上がりますから。(“Kuß … der gan--zen Welt!”は608～610にも)
- 603 【Seid um-〜】 柔らかい音はいいんですけど、テンポは緩まないように。インテンポ。これ、拍が全然わからないような書き方するんですよ。これ、わざとです。ベートーベンが凄い天才的な発想なんだけど、教会の中で音がうわぁ〜んとまき散って残響が凄いつのを実際のオケで再現しているんです。だから拍節という節目が見えないようにわざと書いている。逆に言うと危険です。
- 631 【Ihr_ stürzt〜】 “低くこうべを垂れよ”。謙虚に神を畏れて…。
- 638 【Welt?】 …今のどれぐらいでした?? 宮崎県境は越えた? “世界”!! この1週間で“世界”って言いました? あんまり言わないですよ…“世界情勢”とは言うけど。いきなり“世界よ!”という呼びかけです。

しまもたった1拍ですよ。やっぱり日本は出ましょう。今のは宮崎県の中ぐらいです。……それぐらい出るよお。みなさんの力は凄いのよ。今のでアジアぐらい!?

- 639 【Such' ihn】 ベートーベンが凄いのはさっきffだったものがpp。“探しなさい…”。この落差が凄いですね。



- 650 【～】 “ü-”ウムラウト無理して言おうとしなくていいですよ。口のどこにも力が入っていない感じかな…。しっかりと体で支えて首から下はしっかり。あとは“S … mu … W”そういうところだけポイントやっておいて、“ü-ber Ster---nen muß er Woh----nen.”今ほとんど口を動かしていないんです。最大のポイントは最後“… er__息__ Woh-…”を吸うと思うんです。それをスポンといかないで息を長めに時間とってもらって大丈夫です。“…Woh----nen.”これは聴かせられます。“神がおわす…”。現世的言葉を使うと“…住む”という言葉ですね。それをもう一度最後に。そうするとパート別に時間差で“… Woh-…”なんだけど“…nen.”で揃うということがさらによくわかるんです。

……部屋を広くしておいて、できるだけ細く出す。

……まだ閉めた音が聴こえてくるんですよ。ゆるめてアでもエでもオでもない…。男性は低いから“ü…”になると思うんですけどね、それでも閉めないでください。イメージはそんな感じ。ここは実を言うと音楽的には最大の緊張ポイントなんですけど、肉体的に固くなると絶対に音程がおかしくなっちゃう。

- 653 【muß er～】 “woh--”もう少し言い直していいですよ。“muß er … woh--”それが欲しいのです。それはこの音楽の妨げにはならない。



- 654 【woh--nen.】 “…nen.”のnの響きをちゃんと作ってメーターがきちっと上がってから“Seid_”と行きたい。本番もなんかメーター、付けといてください(笑)。これはもちろん解釈です。すぐに行っちゃう指揮者もおられるんですけどね、それはそれでいいんですけど、私は十分準備して…クッと上げてから行きます。

- ♡ 655 【Seid_ um--】 最初の“Seid_”なかなかいい音してますよ。

- ★ 655 【お話し】 何回も出てくる“Freu-de,”という言葉は必ず毎回毎回前に出してください。かなり出しててください。
- ♠ 670 【Hei-lig-tum! Seid_~】 “Seid_…”の長い音符が続く部分、ちょっとスベってます。“Seid_umschlun-gen, Mil-li--o-nen!”これを流れない。



- 696 【Freu-de!~】 今のところで単発の“Freu-de!”が一巡してバスまでできました。アルトなんか低くて大変なんですけど、これです!! 前に出してほしい!! もっといいですよ。肉体的に歌いましょう。たぶん例え、古いと思いますけど、今、東海林太郎が歌ってるような…(笑)。古すぎ??(笑)。僕だって子どもの頃ちょっと見た記憶があるぐらい…(笑)。若い人はポカーンだねえ。別に体を動かしゃいいってんじゃないんだけど、やっぱり生きてる肉体、動きとかね、それが伴った生きた言葉にしてほしい。どっかに“Freu-de!”。だいたい出すときは…出す前なんですよ。息吸うときですねえ。ここ(体)で持ってないと。まだまだ平板な感じがする!? 各パートの“Freu-de!”を歌うときは絶対向きますからね。もうちょっと体を自由に、単発の“Freu-de!”が浮き上がるように、必ずその方面を見ますからその時、目をキラキラさしてください。上目づかいナシね(笑)。
- ……“Freu-de!”という玉を(バックスイング付きで)打ってください。素振りじゃないです。玉を打つというときは必ず予備動作があって玉に触れる瞬間があって…リリースです。そうすると(“Freu-de!”に)実態が伴うという…。もしくは投げる。これを是非お願いします。実態の肉体が伴った音楽で。

- ◆ 718 【Welt!_~】 ソプラノの苦しい…はねえ、何回息すってもいいですから。綺麗にまとめようと思わないで。出せるものを全部絞り出す(笑)…逆立ちしてもなんも出てこない!! ってぐらい。苦しくなったら幸い息が吸えますここは。一息でせいなんていいません。2回ぐらい吸ったっていいですよ。ここはオーケストラのトランペットがものすごい高い音で“ラー”と一緒にやっています。トランペットは凄い大きい音するからそれに負けないように。でも、良かったですよ。本番は出ると思います。



- 730 【Ihr stürzt~】 もうちょっと長めにしましょうか。本当は2分音符だから。……いちいち次にいくたびに小節を“よいしょ、よいしょ…”はナシ。くつつける。……今、ピアノ弾いてもらってるので音量

は要らないから、ここは自分の心臓の鼓動のように。緊張感と鼓動を感じる。…はい、音程つけて楽譜どおり。

♡ 738 【Such' ihn】 “ihn”という言葉は本来は長いんですけど、“ihn ü-”をひっつけちゃってください。

● 742 【Such' ihn〜】 ……今、だいぶ良い感じに伝わったと思います。あとは技術的に休符のたびに息を吸うわけなんですけど(休符でなくても息を吸うところも何ポイントかあります)。特にソプラノ、高いですから。その時に意識的にもっと体をゆるめないぞ、ゆるめないぞと思っておかないと。“Brü-der!”ふにゃ…(笑)。こんな人はいないんですけど、意識しないと緩んじゃう。緩めない! それで歌っているところと同じ場所で息を吸ってください。これが難しいところです。ずーっとキープ。

● 745 【zelt! Brü〜】 それで緊張がどんどん高まって行って、最後にfに到達したところ(ここ)が一番緊張するところなんですけど、その後、すぐに変えて“Brü-der!”を“兄弟よ”と声かけにしてほしい。その前の言葉というのはちょっと高圧的ですね。“全人類よ、神の前にひれ伏せ…天上にたったひとりの神がいることはわかっているのか!?…万物を創った創造主をイメージできているのか!?”というような意味の言葉ですよ。それが極みにきたらすぐに変えて“Brü-der!”。“いやしかし兄弟よ…”。それができると最高です。



○ 758 【ein_】 前回も言いましたかね。もっとう“ein_”なんか肉体的…なにもないところで“ein_”ではなく…。膝でも肩でもどこでもいいです。なんかそういう実感があるといいです。実際に触ってみてください。骨があり肉があり、実態がありますよね。音もそうあってほしい。

◆ 762 【-nen.〜】 ……今、そうとう良い感じで音程がキープできました! 素晴らしいですよ。こんなにソプラノ、歌えない。頭でわかってても…って人が多いから。みなさん素晴らしい!!

○ 762 【-nen.】 口をつむってないね??

● 795 【Dei-ne Zauber,〜】 ここ、必ず合図出しますけど、みなさんも確信持って入れるように。pですけども“Dei-ne Zau-ber,”ははっきり。だんだん慣れてくると言葉が意味を伴わずに記号になってきます!! 改めて。ここは“神の力…”ですから。“Dei-ne Zau-ber,”を2回言います。次も2回“bin-den wieder,”ふたたび結びつける。何を“was die Mo-de streng_ ge-teilt.”。“引き裂かれたものが神の力によってふたたび結びつけられる…”。それを思い出してください。2回同じこと言うとき、同じように言わない。特にここはcresc.が実際にかかっていますから、2回目言うときは変えてください。

● 806 【Al--le〜】 “Al--le Men-schen,”何連発?? 4連発ですよ!! $4 \times 7 = 28$ で280億人だ。意味のない計算だけど(笑)。今のは70億70億…同じことを並べない!! “Al--le Men-schen, al--le Men-schen, al--le Men-schen, …al--le Men-schen,”最後のはダメ押しですよ。4回言うわけですから宜しく。

● 810 【Men-schen wer-den〜】 それでも凄いのがベートーベンね。ほかの作曲家は書けないですよ。“al--le Men-schen,”の4発目がダメ押しで一番力強いんですけど、すぐさま大ブレーキがかかって“…

Men-schen wer-den …”。それまでと全く違う一番柔らかいものが出てくる。一番凄まじいダメ押しから一番柔らかいものに何秒?? …ね。0.0?秒ですよ。こんなのは天才じゃないと書けない。いいですか。そういう作品をやってるんですよ。だから180度肉体を変えてください。……急ブレーキかけますよ。“…-schen”というところの指揮を見てください。

- 811 【Brü-der, wo dein】 “Brü-der, … wo dein”もっと息とっていいですよ。息の取りかたが浅いと良い“wo …”になりません。



- 855 【Seid um-schlungen,~】 上手に音を並べるだけだったらそれで終わっちゃうんです。全部そうなんですけど、何回も息継ぎして良いし、そんな全開でなくていいのでね、ここはもっと口を動かしてほしい。音量は今には要らないです。それよりは言葉1個1個掴んでいく…。……例え悪いかもしれないけど、ボクシング。最初は元気良いんだけど後半は…!? 最後に残しとかないと!! ずっとパンチパンチパンチ!! もちろん行ける人は最初から100%。でも100%100%100%100%…と続けても人の耳は慣れっこになるからねえ100%に聞こえないんですよ。100%99%98%…と聞こえる。100%100.1%100.2%…でもいいです。着実にちょっとずつ上げていく、そういうふうにご覧ください。例えが悪い、暴力的だったかもしれない…。

- 860 【gan-zen Welt!_~】 “Welt!_…”と伸ばしているときも振動! (918小節参照)。なにかが動いているわけです。

- 864 【Brü-der!】 “Brü-der!”という言葉に対する戦闘態勢(準備)がないんです!? 思い出したように“Brü-der!”(笑)。Brü-der!ここにおったか!? (笑)。そんなんじゃないです!! “Brü-der!”ここしかない!! と攻め込んでください。



- 880 【Die-sen~】 同じ言葉“der gan-zen Welt!”を3回言いますよね。同じことを同じように3回言っちゃダメですよ。やっぱり0.1ずつでもいいから増していく…。……できるだけ言葉を立ててください。“Die-sen”の“D”、“Kuß”の“K”、“gan-zen”の“ga”、“Welt! der”の“We”、客席に届けるんです。

- 895 【gan〜】 それでベートーベンってどんだけ攻撃的な作曲家なんだと思いますよ。ここが一番すごいところだと思うんですね。“gan……………”とやらせるわけですよ。(895〜898小節, 899〜902小節) でもこれは本当に動いてください。綺麗に歌っている人がいる!? くせものはソプラノ。ソプラノ、それは伸ばしているんじゃない!! たまたま和声楽上伸ばしているだけなんで、下のパートと一緒に(振動して)歌ってください。鐘叩いてるように最初発声したらやりっぱなし…はナシ。常に動いて!!
- 910 【Göt--〜】 やっぱ鐘タイプだなあ!? “Göt----ter-fun-ken!”の音は変わらないけど言葉がありますからね。“…ter”を出す前に一回動かしてください。もう1個手を出すような感じかなあ。口でもいいし道具でもいい何か背中に隠しといて。“----ter-fun-ken!”わあもう1個こいつ武器持ってた!! って感じ(笑)。それが観客に伝わる声になります。



- 918 【Freu-de, schö--ner〜】 テンポを(歌詞に)関係づけますから、最後までこのまま…“fun-ken!”は今の皆さんは(“fun-ken!”だけが速くて)転んじゃうんだけど、同じテンポだと思ってください。……音程とリズムだけとってる、それだけでもうまくいけば万々歳ではあるんだけど、でもやっぱりねえ、それだけじゃツルうんとしてるんですよ。人の心を動かしたりなにか聴いたなあ!と思わせるためには振動してないとダメです。どういうことかということ、直線的に音叉を鳴らしたような歌い方にはならない、“Freu-de, schö--ner Göt-ter-fun-ken! Göt-ter…”と歌うにつれて動きがないと…地面から揺るような…そういう思いが皆さんにない(観客に)伝わらないです。
- 918 【Freu-de, schö--ner】 “Freu…”を前に出す。ふわっとじゃなく、しっかりと。
- 920 【fun-ken!】 最後のところ、楽譜をじーっと見ちゃう人が何人かいるんだけど、それ残念ね。最後の最後だから悔い残りますよ。そんなところは覚えちゃいましょう。……まだちょっと“fun-ken!”慌ててる方がいる!? 同じテンポ。ベートーベンはこの、計算して書いてますからね。ここはPrestissimo、一番速い、なんだけど、ちゃんと計算で書いてます。崩れないで。
- ★ 920 【お話し】 ……いい歌になったんじゃないでしょうか。本番が楽しみですね。じゃ、本番の日の土曜日ですね。夕方にオーケストラと合わせて本番を楽しみにしています。どうもお疲れ様でした。

◆先生のご指導がわかりやすく楽しかったです。
 ◆今日は声が出やすかったです。
 ◆前よりも高い音が出るようになった。
 ◆今日は強い声が出ました。本番もがんばります。(えびっち みーちゃん)
 ◆とても楽しかったです。

◆先生の指揮で楽しく歌えました。楽譜を極力めくらず歌えるよう、がんばります。
 ◆毎回緊張の連続です。無欠席だけが…
 ◆今日は、高い音も出やすかったです。
 ◆がんばった。

◆指揮者の先生のご指導がおもしろくて歌いやすいです。また今年のはちがう第九になるだろうと楽しみになってきました。
 ◆3年生です。なんとか楽譜をみなくても歌えるようになりました。まだまだです。
 ◆今日は娘の調子が悪く、本番に向けて体調ととのえます。

◆今日は調子がよくて。前の練習よりかうまくうたえたので、よかったです。

◆森口先生のご指導、ありがとうございました。前回同様、すばらしいご指導でとてもすばらしかったです。

◆本日の練習はエネルギーでBeethovenそのものだったように思いながら声を出した。森口先生、ありがとうございました。(m♪)

◆カゼをひいて口パクでした…。

でもしっかり勉強しまして次こそ!

◆森口先生のパワーで引っ張っていただいて、気持ちよく歌える気になっていました。あともう少し頑張ろう!!

◆楽しかったです。

◆森口先生のご指導、すごく難しいけどすごくおもしろいです。

♥森口先生、とってもわかりやすく、表現エネルギーで楽しい!うれしい練習。

♥あつという間に本番ですね。表情つけて歌う。楽しいです。(8年生)

♥森口先生の愛にあるれた熱い御指導、ありがとうございました。今年の第九はちょっと違うかも。(スピカ)

♥森口先生の御指導で、とてもわかりやすく、たのしくできました。がんばります。

♥森口先生の熱血指導!! すごい!! この調子で本番。がんばるぞ!!

♥森口先生の練習、楽しいですね。元気の力が「みなぎって」きます!

♥先生の指導が大変良かった。

♥強弱のつけ方等、意識して歌っていきたいと思います。ブレスをたくさんとっていきたいです。

♥いよいよ近づいてきました。体調管理しっかりします。

♥言葉を繰り返すところ、同じにならない様に気を付ける。歌う前の心の準備、呼吸、意識していく。

♥思い切り歌えました。勉強になります。

♥歌詞をまだ憶えてなく…



♥思い切って声を出します。もう一声ふるわせて!!

♥今日、本番のつもりで歌いました。自分でも良く出来ましたと思います。

♥すばらしい第九になりそうでワクワクします。(ヨッチン)

♥頑張りましょう!!(うたむし)

♥すごいところに入らせていただいたなーと思っています。私にはもったいないです でもがんばります。

♥森口先生のご指導、とても楽しく分かりやすく出来ました。

♣いよいよ第32回延岡紅白歌合戦のはじまりです。今年の延岡レコード大賞は私がいただきます。ついでに最優秀歌唱賞もソリストのお方をさしおいてまで私がいただきます。するとあとはそのまま流れ

るように一気におめでたい正月へとなだれこもうという寸法です。こいつは春から演技が。今日もまさきに倒れこむいきおいで歌います。

♣楽しい森口先生のご指導で歌う喜びを感じました。ありがとうございました。(す)

♣心地よい疲労の残る練習でした。メリハリの効いた歌い方、詩の意味を理解した歌い方を心がけます。少し声が元に戻ってきて一安心。

本番が楽しみです。

♣今年は11月から声かもどってこない。苦しい練習です。波の噛み合わせって大きな影響があるんだなと考えています。(マツチャン)

♣早く暗譜したい。

♣いよいよだなー。

(KC)

♠歌詞を少しでも覚え

られるよう、頑張ります。

♠楽しく練習することが出来ました。

♠忘れないように復習します。

♠森口先生の指導で声が出ました。(ソルトビーチ)

♠今日は皆さん、パワフルでした。頑張ります。

♠残り回数も短くなりました。可能な限り暗譜します。

♠あと2週間。チョット覚えられるか?(TAKACHU)

♠遅れての参加になりました。しっかりと練習して本番頑張ります。

♠森口先生はケタちがいにエネルギーです。若いですね。ついひっぱりこまれます。いい演奏になりそう!!

●編集後記

次回は**12月15日(金)18:30~21:00**

森口先生の2回目のご指導が終わりました。1回目にできなかった後半部分のご指導は歴代のご指導の中でも特に詳しいものとなりました。本番まで1週間となりました。しっかりと復習して備えてください。あとは本番直前に体調を崩しては台無しです。うがい手洗いを万全にしてください。【munenori@horita.jp】